

平成25年度 はあもにい共生型事業報告

項目	主な概要
運営方針及び目的	<p>「はあもにい」を核として 25 年度は様々な企画運営により高齢者や児童、障害を持った方々が互いに交流すると共に、地域の各種サークルや障害者団体などの利用も増加しており、年々地域の交流の場として認知が進んできている。</p>
ご近所野菜市事業	<p>5 月中旬、花の苗や野菜の苗の他、山菜などを主体とした「春のご近所野菜市」を開催、地元の高齢者が採取した山菜がすぐに完売となる。</p> <p>8 月初旬～9 月末の毎週火曜日・金曜日の 13 時～14 時の 1 時間を開催。出店者は地域の高齢者と障害者施設の団体が 1 回平均 6 店舗ほど出店し、平均 3 万円程度の売り上げがあった。2 年目の企画でもあり、楽しみに訪れる方も増えた。</p>
学童企画事業	<p>夏の学童企画、ミニチュア椅子の工作体験を実施。26 名の学童が参加し昼食は外で「流しそうめん」を味わう。工作補助や昼食サポートとして高齢者等が援助。</p> <p>冬の学童企画として、「読み聞かせと点字」について実施。13 名が参加、講師としては全盲の方が点字で読み聞かせをしてくださり、その後に点字の体験を行った。学童は初めて触れる「点字」について興味と感心を持つ。高齢者のボランティアに餅つきのサポートを受けた。</p>
ほっこり地域食堂事業	<p>毎月 2 回の開催を行う。主催は障害者施設「ポプリ」が月 1 回・NPO 法人「御用聞きわらび」が月 1 回実施。</p> <p>わらび主催では 1 回 40 名程の参加者があり、季節の味と楽しい会話のほか、歌声喫茶風や読み聞かせなど工夫を凝らした企画で参加された高齢者には好評であった。</p>
サークル活動その他	<p>① クフトテープで小物作り教室を月 1 回開催（小澤講師）。回を増すごとに希望者が増加しており、途中で月 2 回開催となる。</p> <p>② 各種団体の会議やミーティングで活用した。</p>